

令和5年度第2回学校運営協議会 報告

7月31日（月）、本校を会場に第2回学校運営協議会が行われました。冒頭、校長から委員の皆様をはじめとする地域からの多大なる支援に対して謝辞が述べられました。あわせて、修学旅行、防災・減災学習、地域探究学習に係る中間発表、体験入学などの1学期の取組を滞りなく実施した旨の報告がありました。次に、協議会長からは、調査で終らず、調査の結果を踏まえて次のステップへ踏み出している生徒の姿が地域探究学習において昨年よりも多く見られ、生徒たちが着実にレベルアップしているという話がありました。

委員による協議においては、大きく二つの内容を取り上げました。まず、Bridge for Fukushima の沓澤様から、総合的な探究の時間に係る他高校の事例について講話をいただきました。先進的・特徴的な実践をしている全国の高校の取組について具体的に見ながら、地域との関わり方、大人の関わり方、猪苗代高校ができること、猪苗代高校のCSとしての在り方などについて委員で考えを深めました。その後、グループに分かれて、生徒たちに紹介したい猪苗代町の人々と活動について、まとめました。地域とのネットワークづくりやつながりは、今後の生徒たちの地域探究学習にとって必須のアイテムとなることが必至です。今回まとめた貴重な情報を生徒たちに提供し、地域探究学習などの場面で活用させたいと思います。今回の協議会を通して、教職員や地域の皆様も含めて生徒たちの周りにはいる大人が、生徒たちのフォロワー、イネーブラー、ジェネレーターとしていかに関わっていくかが大切であることを再認識しました。

